

こども農園

枝豆が成長すると
大豆になるなんて知らなかった!

問合せ 保健センター ☎0495-77-4041

◆10月の活動◆

10月22日(土)、こども農園では落花生と枝豆の収穫を行いました。秋も深まり肌寒い中での収穫でしたが、子ども達は大きく実った落花生と枝豆をたくさん収穫しました。

試食会では、茹でた落花生と温かい枝豆のワンタンスープを食べました。

次回のこども農園の活動は大根の収穫と落花生を煎る作業を行う予定です。



落花生を手取る子ども

●枝豆と大豆●

枝豆は、大豆が成熟する前の段階で収穫したものということを知っていますか? 品種改良されているため、ホームセンターでは枝豆の種、大豆の種として販売されていますが、枝豆を収穫せずにいると、大豆になってしまうのです…!

●日本食に欠かせない大豆●

大豆はしょう油、みそと言った調味料をはじめ、おから、豆乳の原料にもなります。豆乳からは豆腐を作ることができます。豆腐を加工し、厚揚げ、油揚げ、がんもどき、高野豆腐もできます。

●豆腐作り教室、やります!●

詳細は16ページをご覧ください。農園参加者以外の方も募集をしていますので、興味のある方はお申し込みください!



活用しよう! 農業関連補助制度

問合せ 経済観光課 農政担当 ☎0495-77-0703

① 認定農業者支援事業

対象者 認定農業者で、現在の経営規模を維持拡大し、引き続き5年以上農業経営を行うことが見込まれる方

対象経費 新規作物・新技術の導入等に必要な機械・施設に要する経費

補助率等 補助率: 対象経費の **3分の1** 以内
限度額: **50万円**

※平成29年 **1月13日(金)** までに申請してください。後日、「神川町農業支援事業認定審査会」に諮ります。

② 特産品振興事業

対象者 梨を生産・販売する農業者

対象経費 苗木・土壌処理剤の購入及び植替えのための抜根に要する経費

補助率等 補助率: 対象経費の **2分の1** 以内
限度額: **5万円**



③ 獣害防除対策事業

対象者 農産物を販売する農業者

対象経費 獣による農作物被害を防除するために設置するネット・電気柵等設置にかかる資材経費

補助率等 補助率: 対象経費の **2分の1** 以内
限度額: **10万円**

④ 新規就農青年奨励金

対象者 専ら農業に従事する18歳以上45歳未満の
新規就農者
奨励金の額 10万円

※全ての補助事業に詳細な条件があります。申請前にお問い合わせください。



こんにちは保健センターです

保健センター ☎0495-77-4041

~冬に流行する感染症~

寒さや乾燥が厳しくなるにつれ、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなど様々な感染症が増加しますが、その中で、近年感染が増加しているのが「RSウイルス感染症」「溶連菌感染症」です。これらは子どもがかかる病気と考えられがちですが、大人でもかかる可能性があり、大人がかかった場合は、より重症化しやすいので注意が必要です。

種類	症状	大人が感染すると	予防法
RSウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> ● 鼻汁・鼻づまり ● せき込み症状 ● 乳幼児では喘息のような喘鳴(ぜんめい)・呼吸困難・高熱 ● 生後6か月以内にかかるとう気管支炎・肺炎になりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● RSウイルスに対して免疫を持っている方は鼻かぜ程度で終わることが多い ● 大人でも気管支炎や肺炎を起こすことがあり、その際は38度以上の発熱が5日程度続く ● 高齢者は特に注意 	<ul style="list-style-type: none"> ● マスク・手洗い・うがいをする ● 症状が出始めたら、人との接触を避ける
溶連菌感染症	<ul style="list-style-type: none"> ● 溶連菌が起こす病気 急性咽頭炎 猩紅熱(しょうこうねつ) 扁桃炎 糸球体腎炎 リウマチ熱など ● 急性咽頭炎(子どもに多い) 高熱・のどの強い痛み・発疹・舌に赤いブツブツができる・扁桃腺が腫れて膿がでる ● 合併症 医師の指示通りに治療を行わないと糸球体腎炎やリウマチ熱などとの合併症を引き起こす 	<ul style="list-style-type: none"> ● 溶連菌に対して抗体を持つ人が多いため、感染しても症状の出ない「無症状感染」が多い ● 発症すると、子どもより重症になる可能性がある。重症化して死亡する割合も高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● マスク・手洗い・うがいをする ● 感染している人と同じ食器などを使わない <p>* 溶連菌感染症は「冬季」「春~初夏」の年2回流行時期がみられます</p>

なぜ? 冬に感染症が増える?

ウイルス: 低温・乾燥を好む

冬はウイルスにとって絶好の環境で、感染力も強くなる

咳やくしゃみでウイルスが遠くまで飛ぶ

人の身体: 体温が低下

ウイルスに対抗する力が低下

水分の摂取量が少ない

喉や気管支が乾燥し、粘膜が傷むため、ウイルスの侵入を防ぎにくい

感染を防ぐポイント

- マスク
- 手洗い
- うがい

